

千葉県立病院新改革プランの概要

県立病院の現状と課題

- 平成26年度にがんセンターの腹腔鏡下手術による死亡事例が問題化したことや、佐原病院を始めとする医師不足等の影響により、平成26年度以降は経常赤字が続いている状況。
- 収益改善を図るためには、医療安全対策の徹底による県民の信頼回復や、医師不足の解消等が重要。
- 老朽化・狭隘化が問題となっている、がんセンターの新棟建設や、救急医療センターと精神科医療センターの一体的整備、佐原病院の耐震補強工事等が必要。

① 保健医療計画及び地域医療構想を踏まえた役割の明確化

(1) 保健医療計画及び地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割

・高度・特殊な専門医療を担う4病院

がんセンター、救急医療センター、精神科医療センター、こども病院の4病院は、引き続き大学病院や地域の中核病院等と役割分担しながら、圏域では対応できない医療の最後の砦としての役割を担っていく。

・循環器に関する高度・専門医療と地域における中核医療を担う1病院（循環器病センター）

循環器系疾患で千葉県内で高いシェアを占めている一方で、立地上の課題もあり、将来的な専門医療と地域医療のそれぞれのあり方については、全県的な視点と当該構想区域の状況を踏まえて検討が必要。

・地域における中核医療を担う1病院（佐原病院）

佐原病院は、地域の中核病院としての役割を担うとともに、平成28年度に地域包括ケア病棟を設置するなど在宅医療の強化に取り組んでいる。佐原病院が将来的に地域で担うべき役割については、構想区域内の地域医療構想調整会議等で協議・調整していく必要がある。

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて県立病院が果たすべき役割

・佐原病院

佐原病院では、訪問看護ステーションや地域包括ケア病棟の設置、地域の訪問看護を行う人材育成など、在宅医療に取り組んでいる。

今後、自治体等が主体となって構築される地域包括ケアシステムにおいて、佐原病院が担うべき役割を地域の関係者と協議・検討し、地域の医療・介護施設と密接に連携を図りながら佐原病院に求められる役割を果たしていく。

② 経営の効率化

ガイドラインでは、平成32年度までに病院局全体で経常収支黒字化を達成することが求められているが、平成32年度以降、大規模投資に伴い減価償却費が数十億円規模で増加することが見込まれ、計画期間中の経常収支の黒字化は極めて困難な状況。

平成32年度時点で約24億円の経常赤字の見込。

現段階の試算では、平成37年度を目途に病院局全体で経常収支の黒字化を達成する見込み。

※収支計画は別表のとおり

③ 再編・ネットワーク化計画(主なもの)

(1) 救急医療センター、精神科医療センターの一体的整備

県内唯一の高度救命救急センターである救急医療センターは、精神科医療センターとともに施設の老朽化・狭隘化や、高齢化に伴う身体・精神合併救急患者の増加等への対応が喫緊の課題となっていることから、この2病院を統合して整備し、全県対応の救急・災害医療ネットワークを構築する。

なお、精神保健福祉センターを同じ建物内に整備することにより、精神保健医療福祉の円滑な提携を図る。

(2) 香取海匠圏域における医療提供体制のあり方

香取市では、国保小見川総合病院の建て替え整備を進めるとともに、地域医療のあり方についての検討を行っており、また、隣接する成田市では、平成29年4月に国際医療福祉大学が医学部を新設し、平成32年に640床規模の附属病院の開院が予定されている。

こうした地域の医療提供体制を踏まえつつ、県立佐原病院が現在担っている地域医療の役割を果たせるよう耐震性を確保するとともに、安定した医師確保により地域の医療提供体制を確保するため、県内の大学医学部、地域の公立医療機関等とネットワークを構築していくことが必要。

(3) 循環器系疾患の全県（複数圏域）対応型医療提供体制のあり方

循環器病センターは、循環器病に係る高度専門医療を提供するとともに地域の一般医療も担っている。市原医療圏や隣接の山武長生夷隅医療圏に相次いで救命救急センターが指定されたことを踏まえ、これらの医療機関との役割分担と連携に係るネットワークについて関係者と協議を進めていく。

④ 経営形態の見直し

公立病院の経営形態は、地方公営企業法（全部適用）、地方独立行政法人、指定管理者制度、民間譲渡の4つの選択肢が考えられるが、千葉県病院局では、平成16年4月から地方公営企業法（全部適用）により病院運営を行っている。全国でも平成26年度現在、360病院が全部適用を採用している。

今後の方向性としては、現状の経営形態（地方公営企業法全部適用）を基本に、経営の効率化に努め、将来的には「地方独立行政法人」への移行も視野に入れて継続的に検討していくこととする。

各病院の収支計画(経常収支)

(単位:百万円)

	がんセンター			救急医療センター			精神科医療センター			こども病院		
	H27 決算	H32 計画	H37 計画									
収益	12,955	18,037	20,730	5,286	5,609	6,598	1,559	1,660	1,862	9,765	10,739	10,794
費用	12,840	19,013	19,656	5,267	5,492	6,681	1,477	1,584	1,891	9,582	10,212	10,303
収支差	115	▲ 976	1,074	19	117	▲ 83	82	75	▲ 29	183	527	491

	循環器病センター			佐原病院			経営管理課			病院局全体		
	H27 決算	H32 計画	H37 計画									
収益	7,919	8,799	9,155	4,319	4,483	5,104	585	496	496	42,388	49,823	54,739
費用	8,280	8,850	8,937	5,138	5,219	5,378	1,839	1,883	1,883	44,423	52,253	54,729
収支差	▲ 361	▲ 51	218	▲ 820	▲ 736	▲ 274	▲ 1,254	▲ 1,387	▲ 1,387	▲ 2,035	▲ 2,430	10